

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 海務課長
施策名	良好な港湾空間の形成		成果	コスト		
事務事業名	港湾区域内の漂流物除去				連絡先	052-654-7881
	対象(誰・何を)	港湾区域内の漂流物			連携課	環境担当
目的	意図(どういう状態にしたいか)	漂流物の除去や水面清掃を行うことにより、航行船舶の安全確保や公衆衛生向上を行います。			事業期間	昭和61年度～継続
概要	港湾区域内における漂流物、廃船その他船舶航行に支障を及ぼすおそれがある物の除去及び水域の清掃は港湾管理者の業務となっており、作業船による巡回及び通報により確認された漂流物を迅速かつ確実に除去しています。海務課による港内障害物除去をはじめ、公益社団法人名古屋清港会の清掃活動や、南部地区障害物除去などにより、港湾区域内の航行安全や環境向上に努めています。				根拠法令等	港湾法(第十二条港湾管理者業務)
令和元年度の実施予定	土日休日、祝日及び夜間を除き、委託事業者の作業船による巡回を毎日実施します。また、漂流物情報があれば直ちに対応し、船舶の航行安全環境の確保に努めます。必要に応じて運河河川の漂流物にも対応します。				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	土日休日、祝日及び夜間を除き、委託事業者の作業船による巡回を毎日実施しました。また、漂流物情報に直ちに対応し、港内や運河河川の船舶航行安全環境の確保に努めました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	25,980	25,900	111,726	54,535	令和元年度から事業費の考え方を見直した、事業費は増加しています。
人件費	千円	1,838	1,844	1,835	1,839	
合計	千円	27,818	27,744	113,561	56,374	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
漂流物等による海難発生件数(件)	目標	0	0	0		0	迅速かつ確実な対応により港内での海難発生を未然に防ぎます。	
	実績	0	0	0		0		
(単年度管理型)	事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る	目標値どおり	目標値を下回る		
通報等による水面清掃の対応率(%)	目標			100		100	巡回及び通報により確認された漂流物等を除去し、公衆衛生向上に努めます。	
	実績	100	100	100		100		
(単年度管理型)	事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る	目標値どおり	目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	迅速かつ確実な漂流物及び汚物等の除去により海難の発生はなく、船舶の安全が確保されました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	今後も航行船舶の安全及び港内の美化を図る事業が必要であるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
船舶の老朽が見られることから、事業に影響がでないように維持管理計画に則り適正な管理が必要となります。			港内とこれに接する港湾区域内河川の水面清掃を行うとともに、航行船舶の安全及び港内の美化、水面の汚濁防止及び公衆衛生の向上を図ります。